ジョグトリ新聞

あみりん悪筆の元はここにあった
～書道教室破門事件～

それは、あみりんがまだ小学生のころでした。

かわいいかわいいクルクルっとした目をした天使のようなこどもでした。

しかし、この天使のようなこどもにも大きな欠点がありました。それは、ものすごく飽きっぽいところ。

一つのことに集中できない、いつもソワソワしている、落ち着きのないこどもでした。

そんなあみりんが書道教室に通うことになりました。近所のちょっとかわいい同級生の女の子といっしょにです。

初めの数回はおとなしいものでした。だって、初めての書道で物珍しさもありましたし。

ところがそのうちに飽きてきました。

飽きてきたら、人の邪魔をしたりイタズラしたり。

今でも覚えていることがあります。見るに見かねてでしょう、書道の先生の奥さんが文字の輪郭だけを紙に書いて、こう私に言いました。「あなたは、この中を塗りなさい！」

まったく、塗り絵じゃないんですから。

でもそれでも私の態度は改まらず、ある日書道の先生から「お前はもう来なくていい」という破門宣言を受けました。

小学生にして破門を受けたのは私くらいじゃないでしょうか。

今でもジョギングしてて、その書道教室があった家の前を通るたびに申し訳ない気持ちになります。

言うことをきかないお子様やお孫様をお持ちの皆様、こんな私でも世間を渡り歩ける”おとな”になりました。

なんとかなるもんです。

そう、黙っていればそのうち”おとな”になりますから、きっと。

創刊号
発行日
2017年10月1日
発行責任者
社団法人
ジョグトリップ
理事長
網本裕之

近ごろのお買い物

別府大分ジョグトリップの渉外活動で飯塚市に行った折、目についたメガネ屋さんに立ち寄ってメガネ買っちゃいました。

まったくの飛び込みでしたが、全国チェーン店なので、まっいいかぁって感じです。

メガネを買った理由。それは、なくしてしまったから。

山ん寺ジョグトリップの開会式のときには確かに掛けてたんですけど、片付けが終わるころ掛けてないのに気づいたんです。間抜けな話です。

そもそも近視なのに度の入っていない素通しのレンズだったので、外したのもわからなかったというわけ。いいわけですが。

ちなみに言っておきますが、運転免許は眼鏡等の条件なしです。なぜか免許の更新に行くと目とカンが急に良くなる私です。

話を戻すと、そのメガネ屋では、加工料込５０００円の商品から置いてあります。もちろん私はそこしか見ません。

ふと目を上げると、「２つ目は半額」という垂れ幕が下がっています。

ということは、２つ目は２５００円？

そもそも近視だったのに度なしレンズのメガネを掛けていたのが無茶な話。

ええい、この際、度付きと度なしの２つ買っちゃえ！ということで、お店の思惑通り２個買いした私です。

お店の人と話してたんですが、運転してて目が疲れるのも、近視が矯正されていないからみたい。

黒の縁取りフレームに、度入りの一本は白色のアーム、度なしの一本は黄色のアーム。

白色のヤツは特に運転の時に。

黄色のヤツはジョグトリップの時に掛けるつもりで、ジョグトリイエロー！

シューズを変えたら気分も変わるように、メガネを新調して気分新たにジョグトリップに取り組んでいるあみりんなのでした。

訪問販売対処法！ありがとう大作戦！

去年の山ん寺ジョグトリップで、数人の方に初お披露目した話です。

ピンポーンと音がしたのでドアを開いてみたら訪問販売。よくあることです。

また電話に出たらセールスの勧誘。これもよくあることです。

どちらの場面でも正面から断ってはいけません。

なぜか？

相手は断り文句に対する問答集を最初から用意しているからです。

相手はプロです。簡単には断らせてくれません。

そこで、発想の転換。

ありがとうのシャワーを相手に浴びせるのです。

必要もない布団を売り込まれたらこう言うのです。

「ありがとうございます」

相手が変な顔をしても構わず、「ありがとうございます」と言うのです。

相手がさらに説明を始めたら、また言うのです。「ありがとうございます」と。

「ありがとうございます。でも、うちはいらないんです。ありがとうございます」

と。

コツは、明るく心を込めて「ありがとうございます」と言うこと。

「ありがとうございます。でも、うちはいらないんです。ありがとうございます」

なぜこれがいいのか？

人間は、（心から）人に感謝されるとうれしくなるんです。無条件に。

うれしいでしょ？人から「ありがとう」って言われると。

ここがポイント。

訪問してきた相手、電話してきた相手も人間です。「ありがとう」って言われるとそれだけでうれしくなってしまうんです。

うれしくなると満たされた気分になるんです。

なので、「いらないんです」というこちらの言葉も素直に受け入れてくれます。

騙されたと思ってやってみて下さい、ありがとうのシャワー。

相手も幸せ気分、こちらも幸せ気分。これこそ、ウィン・ウィンじゃない？